

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号 1 3 白井市国土強靱化地域計画（基本計画編）見直し事業（危機管理課）

質問事項	回答
【全体に関する質問】	
パブリック・コメント以外に「市民参加の方法」を取り入れる考えはなかったのですか。	本計画については、市民参加条例上の市民参加の対象に該当するものではなく、直接参加型の審議会も設置していませんが、時間や場所を問わずに意見を提出できる手法で積極的に市民参加を行うことが好ましいと考え、パブリック・コメントのみ実施することとしました。
市民の理解を促すサポート（工夫）は実施していましたか。	パブリック・コメントの実施に当たり、概要として、見直しの目的、修正の基本的な考え方、スケジュール等を示すとともに、地域防災計画との違いを図式化してわかりやすい周知に努めました。
各課との意見交換をどのように実施したのか教えてください。	白井市国土強靱化地域計画（基本計画編）の修正に当たっては、地域防災計画と同様に、危機管理課での課内審議を踏まえ、修正案を作成し、修正の目的、基本的な考え方、修正内容、スケジュール等の概要と併せて、10月17日から31日までの15日間にかけて庁内情報システムで各課照会を行い、意見を収集しました。 その後、各課からの意見を反映した素案について、11月10日に地域防災計画等庁内推進委員会を市役所1階東庁舎101会議室で開催し、「1 白井市地域防災計画の修正について」、「2 白井市業務継続計画（災害編）の修正について」、「3 白井市国土強靱化計画の修正について」説明を行い、意見交換を実施しました。
【パブリック・コメントに関する質問】	
市民参加の手法として、パブリックコメントを選択した理由を教えてください。	上記の回答と同様です。
パブリック・コメント結果の公表の有無を教えてください。	パブリック・コメントを実施した結果、意見書の提出がなかったことについて、市ホームページで公表しています。
パブリック・コメントにて意見がなかったため、結果として市民の意見はどのように反映されているのか教えてください。	本計画自体について、直接の意見はありませんでしたが、本計画は想定した自然災害を踏まえて、6つの事前に備えるべき目標に対して、28のリスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）を設定し、リスクシナリオを回避するために必要な取組み・事業は、複数の市民参加の手法を取り入れて策定した総合計画に掲げた重点テーマや施策・事業に沿うものとしています。
「パブリック・コメントを実施したことは適切」と自己評価されていますが、どのように適切であったのか教えてください。	パブリック・コメントに対しての市民の意見はありませんでしたが、積極的な市民参加に努め、政策の立案段階において、市が行おうとする施策の趣旨や目的、内容等を公表できたことは適切であったと考えています。